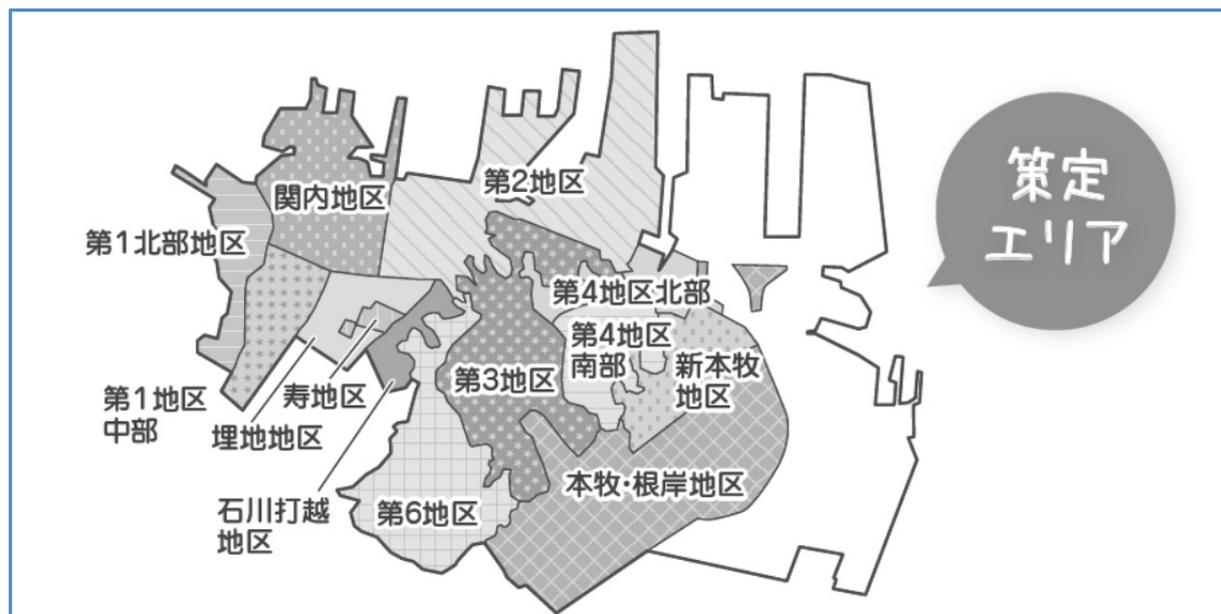


第 5 章

地区別計画

1 地区別計画

地区別計画は、中区内の12の連合町内会エリアに寿地区を加えた13の地区で策定されています。それぞれの地区で、地域の実情に合った議論を進めてきました。



地区の名称	地区に含まれる町
第1北部地区	赤門町、内田町、黄金町、桜木町、野毛町、初音町、花咲町、英町、日ノ出町、宮川町
第1地区中部	曙町、伊勢佐木町、末広町、末吉町、羽衣町、福富町、蓬莱町、弥生町、吉田町、若葉町、長者町の一部
関内地区	相生町、太田町、尾上町、海岸通、北仲通、新港一丁目、新港二丁目、住吉町、常盤町、日本大通、弁天通、本町、真砂町、港町、南仲通、元浜町、横浜公園
埋地地区	翁町、千歳町、万代町、富士見町、不老町、山田町、山吹町、吉浜町、扇町・寿町・長者町・松影町・三吉町の一部
寿地区	扇町・寿町・長者町・松影町・三吉町の一部
石川打越地区	石川町、打越
第2地区	新山下一丁目、新山下二丁目、新山下三丁目、元町、山下町
第3地区	上野町、柏葉、鷺山、竹之丸、立野、仲尾台、西之谷町、本牧緑ヶ丘、豆口台、妙香寺台、麦田町、大和町、滝之上・山手町の一部
第4地区南部	本郷町、本牧町、本牧満坂、本牧荒井の一部
第4地区北部	北方町、小港町、諏訪町、千代崎町、本牧十二天、山手町の一部
本牧・根岸地区	根岸町、根岸加曽台、池袋、矢口台、本牧間門、本牧荒井の一部、本牧三之谷、本牧大里町、本牧元町、本牧原の一部、錦町、かもめ町、千鳥町、豊浦町、本牧ふ頭、南本牧
第6地区	大芝台、大平町、塚越、寺久保、西竹之丸、根岸旭台、根岸台、簗沢、山元町、滝之上・山手町の一部
新本牧地区	本牧宮原、本牧和田、和田山、本牧原の一部

地区別計画は、
☆地区の現状（この地区はこんなまち）
☆目標と具体的な取組
の2本立ての構成となっています。

日頃から地域において様々な活動を行っている自治会町内会や地区社会福祉協議会のメンバーを中心に、各地区の担い手の皆さんが集まって、第3期計画検討のための話し合いを重ね、策定に至りました。

話し合いの中では、これまでの2期10年間にわたる取組の成果と、良いところをより良くしていこうという発想を中心に、取組に当たっての課題認識についても話し合い、課題解決のための工夫やアイデアを出し合いました。特にこれからも活動を継続していくために、担い手の確保、様々な活動団体同士のつながり・ネットワーク化を進める方策について地域の実情に応じた方法について議論しました。

ここで、各地区の概況と話し合いの様子を簡単にご紹介します。

第1 北部地区

第1 北部地区は、中区の北西に位置する細長い地域で、閑静な住宅地と繁華街が、そして昔ながらの下町情緒と新しい町並みが融合した地域です。この地域では、地区社会福祉協議会メンバーである自治会町内会長、民生・児童委員、保健活動推進員、スポーツ推進委員などに加えて地域内でまちづくりの活動を行っている団体のメンバーの参加も得て、今できることをいかに継続していくかを中心に話し合いました。

第1 地区中部

第1 地区中部は、伊勢佐木町や福富町といった市内有数の繁華街を含む地域です。この地域では、地区の自治会町内会長と民生・児童委員、保健活動推進員など日頃から見守り活動を活発に行っている担い手により、繁華街であることや外国とつながりのある区民との関係づくりの難しさなど、日頃の活動の中から出た課題認識を中心に話し合いました。

関内地区

関内地区は、馬車道を中心とした商店街と企業が集積する地域です。戸建ての住宅はほとんどなく、地区内のマンションに住む住民と商店街・企業がいかに連携してまちづくりに取り組むかが大きな課題となっています。その中で地区の民生・児童委員や保健活動推進員が中心となり、自治会町内会役員が加わって住民間の関係づくりについて話し合いました。



埋地地区

埋地地区は、古くは吉田新田と呼ばれた埋立地に立地し、商業の集積地域となっています。住民のほとんどはマンション在住であり、地区内の学校が閉校したことなどから、日頃からの関係づくりに苦勞しています。そこで、自治会町内会役員を中心に、各自治会町内会から地域活動の担い手が集まって、地域内での関係づくりを進めるための取組を中心に話し合いました。

寿地区

寿地区は、戦前は落ち着いた下町情緒あふれるまちでしたが、接収を経て、戦後は日雇労働者のまちとして我が国の高度成長を支えてきた活気にあふれるまちとなりました。現在では多くの住民が何らかの課題を抱えながら簡易宿泊所で暮らす福祉ニーズの高いまちとなっており、地域内で活動を行っている民生・児童委員や、NPO法人・社会福祉法人といった支援機関のメンバーを中心とした「ことぶきゆめ会議」の場で、これからの活動内容について話し合いました。

石川打越地区

石川打越地区は、中村川沿いに東西に幅広く広がる地域で、落ち着いた住宅街と石川町周辺の商店街が併存する街並みです。背後には山手の丘が控え、急な坂も多いため、高齢化の進む中、外出機会の確保が大きな課題となっています。地区別計画の策定にあたっては、地区別計画推進会議メンバーが4つの分科会に分かれて、これからの取組内容について話し合いました。

第2地区

第2地区は、元町や中華街といった市内有数の繁華街や山下公園を中心とした観光地と、新山下周辺の落ち着いた住宅地とが併存しています。地域での活動も地区社会福祉協議会を中心に、元気な地域づくり推進協議会の枠組みも活用して様々な取組を行っています。地区別計画の検討も、地区社会福祉協議会のメンバーが、今ある取組を続けることを大切にしつつ、新たな取組についても話し合いました。

第3地区

第3地区は、東は山手の異国情緒あふれる地域から、本牧通りを挟んで西は根岸森林公園に隣接する住宅街まで非常に広い地域であり、地区としてまとまった活動を行うのが困難な地域性が課題となっています。一方、それぞれの自治会町内会を単位とした活動は活発に行われており、それらの活動について共有し、助け合いながら取組を進めるため、「地域支えあい連絡会」の場でこれからの取組について話し合いました。



第4地区南部

第4地区南部は、本牧通り沿いの3つの商店街を中心に、その両脇に広がる静かな住宅街です。本牧山頂公園など自然も豊かにあり、自治会町内会を中心とした様々な取組が活発に行われています。第3期計画の検討に当たっては、元気な地域づくり推進協議会の枠組みを活用し、福祉保健部会のメンバーを中心にこれまでの取組を継続しつつ、新たな課題に対応するための活動について話し合いました。

第4地区北部

第4地区北部は、本牧通りと産業道路に挟まれた閑静な住宅街と小港の大規模な集合住宅から成る東西に長く伸びた地域です。活動の拠点の確保に苦労していましたが、担い手の努力と工夫により乗り越えてきました。第3期計画の策定にあたっては、これまでの工夫を活かしながら、「こどもたちのふるさとになるまち」をキーワードとして、地域全体でこどもたちを守っていくための取組を中心に話し合いました。

本牧・根岸地区

本牧・根岸地区は、中区の最南端に位置し、落ち着いた住宅街に隣接するように埋め立て地の埠頭や工場などがあります。これまでも地区社会福祉協議会の活動を中心に様々な取組を行ってきましたが、新たに設立された「元気な本牧根岸まちづくりの会」の活動など、住民のみでなく、企業や学校・福祉施設なども協力してまちづくりに取り組んでいます。計画の検討に当たっても、構成メンバーへのアンケートによりニーズ把握をしたうえで地区社会福祉協議会の場で話し合いました。

第6地区

第6地区は、根岸森林公園の周辺に位置する小高い丘の上にある地域です。この地形により、特に高齢者や障害者などにとって生活上の厳しい側面がありますが、住民同士の助け合いにより支えています。計画の策定にあたっては、地区の住民や商店街などによる「まちなかプロジェクト」の場で、これまでの活動を振り返りつつ新たな取組目標を設定するなど、積極的に話し合いました。

新本牧地区

新本牧地区は、米軍接収地の返還後に開発された大型の商業施設と周辺の大規模な集合住宅で構成される地域です。中なかいいネ！の取組をベースとして元気な地域づくり推進協議会の設立に至り、計画の検討も、自治会町内会と民生・児童委員を中心に、学校や福祉施設、企業、NPOなどが集まって、これからのまちづくりについて「こどもを中心に盛り上げる」ことをテーマに様々な取組について話し合いました。



2 地区別計画の振り返り

第3期の中なかいいネ！は、地域の人同士の“えん”を深めて、地域の中の見守り力を高める取組と、人もまちも元気いっぱいになれるような健康づくりの取組を二つの大きな柱として計画されています。地域における中なかいいネ！の取組については、「取り組めたこと」「次に取り組んでいくこと」などを毎年振り返り、より効果的な取組にできるよう工夫を図りながら、少しずつ目標に近づけていきます。

振り返りにあたってはPDCAサイクルを意識して、取組の当初に想定した到達目標（Plan）からみて、どのような取組をしたか（Do）、どの程度達成できたのか（Check）をみんなで話し合っ、次につなげていきます（Action）。

